

1

実態調査の概要

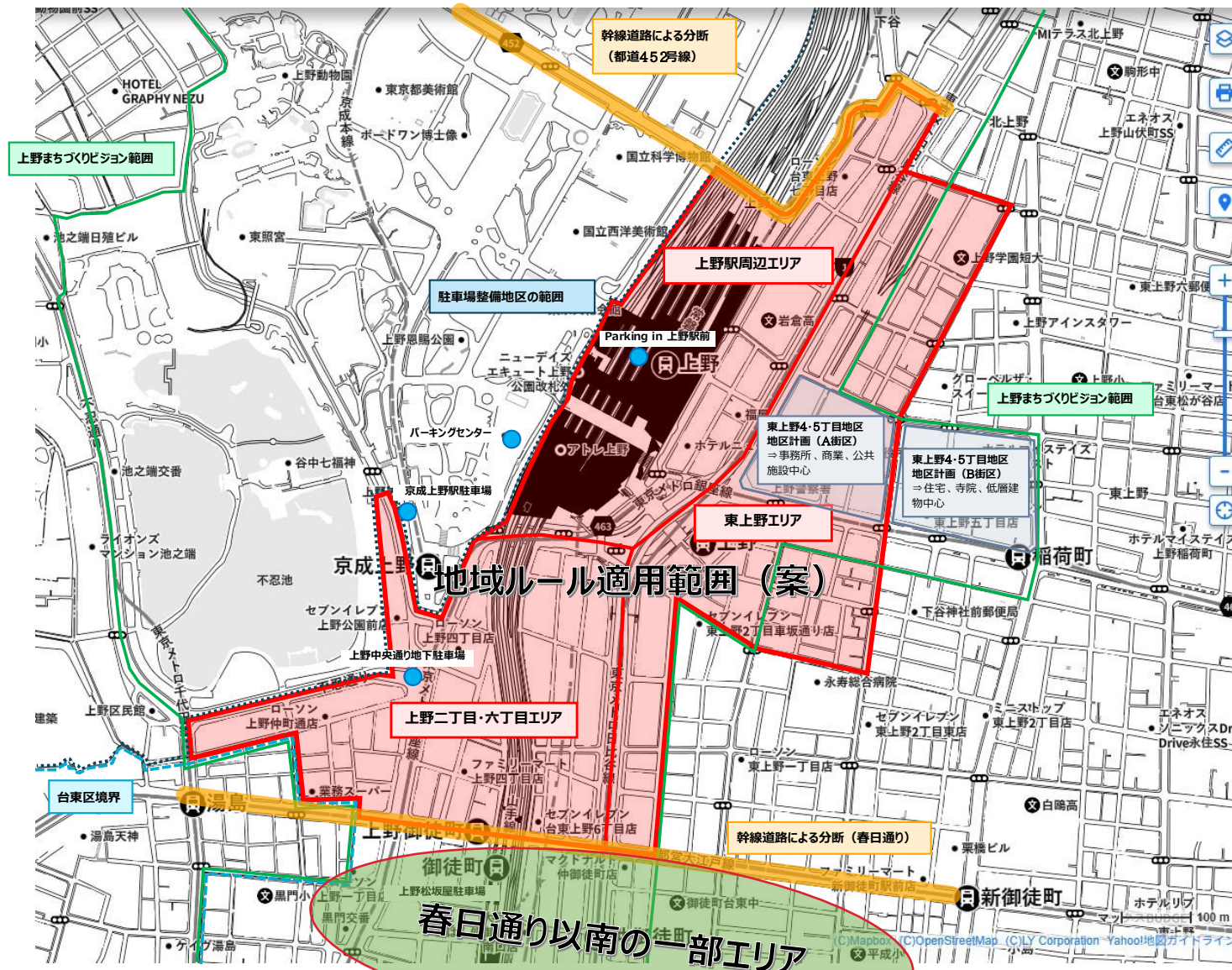
実態調査の概要

1.1 実態調査の目的

台東区駐車場整備計画に基づく駐車場地域ルールを検討に向けた基礎資料の収集を目的とする。

1.2 実態調査の調査対象範囲

調査対象範囲は、資料2で示した、下図の地域ルール適用範囲(案):赤枠内に加えて、今後荷捌きルールの導入の可能性のある春日通り以南の一部エリアおよび大規模駐車場を対象とする。



1.3 実態調査の項目

実態調査の項目は、令和6年度実態調査(項目5～7)を活用※するとともに、駐車場地域ルールを検討に必要となる以下の内容について実施する。

実態調査における調査項目

	調査名称	調査目的	概要
1	駐車場利用者・路上駐車運転者の目的地調査	・用途別の整備台数の基準値の検討 ・隔地・集約における隔地許容距離の検討	ヒアリング調査により利用者(ペルソナ)、目的地を把握する。目的地は、可能な限り具体的な建物名称、店舗名称を調査する。
2	路上荷捌き実態調査	・貨物車用駐車施設の必要整備量の検討 ・貨物車用駐車施設の集約化の可能性の検討	路上荷さばきにより建物・店舗等への配送を行っている車両の配送員を対象として、配送先等を調査する。
3	荷捌き区画の利用実態調査	・貨物車用駐車施設の必要整備量の検討	建物に附帯する荷捌き用駐車場等における荷さばきのために駐車する車両の、入出庫時間・車種等を調査する。
4	障害用駐車区画の利用実態調査	・障害者用駐車施設の必要整備量の検討	障害者用駐車区画またはスペース(代表駐車場)を対象として、利用状況を調査する
5	駐車施設状況調査	・駐車需給状況の「供給量」の把握 ・用途別の整備台数の基準値の検討	駐車施設(コインパーキング、建物附帯のものを含む)の整備状況を把握する
6	駐車場利用実態調査	・駐車需給状況の「需要量」の把握 ・用途別の整備台数の基準値の検討	駐車施設(コインパーキング、建物附帯のものを含む)の利用状況を把握する
7	路上駐車実態	・駐車需給状況の「需要量」の把握 ・用途別の整備台数の基準値の検討	地区内の路上駐車の実況を把握する

令和6年度実施済

※過年度調査から深度化が必要な調査については別途行うものとする(例:駐車場所有者・管理者ヒアリングほか)

1.4 実態調査の実施日

実態調査の実施日は調査日設定についての考慮事項に基づき以下の平日・休日の各1日を設定した。

平日:10/6(火)または10/8(木)

※予備日:10/13(火)または10/15(木)、10/20(火)または10/22(木)

休日:10/4(日)

※予備日:10/18(日)

■調査日設定についての考慮事項

- 1.一般的に平準的な交通状況とされる9月後半～10月の時期とする。
- 2.平日・休日の各1日で実施する。
- 3.平日:火曜日～木曜日のうち、物流市場(水産物・青果物等)の休業日と重ならない日程とする。
- 4.休日:イベント実施日や連休(シルバーウィークや3連休)と重ならない日程とする。

2

実態調査の内容

2.1 駐車場利用者・路上駐車運転者の目的地調査

調査対象区域内の駐車施設および道路に調査員を配置し、ヒアリング調査により目的地を把握する。
目的地は、可能な限り具体的な建物名称、店舗名称を調査する。

調査内容	
調査目的	建築物の種類・規模ごとの駐車需要の検討等を行うため、駐車場利用者および路上駐車運転者への聞き取りにより利用者(ペルソナ)、目的地などを把握する。
調査対象	対象地区内の駐車場利用者 対象地区内における路上駐車車両の運転者
調査期間	平日・休日各1日9時～21時
調査項目	・駐車場所・来訪目的・目的施設・車種・目的地から少し離れた駐車場の利用意向 等 ※上野公園周辺の大規模駐車場4か所については、利用者属性(家族連れ等)や隔地駐車場の利用意向についても把握する。
調査方法	調査員が対象駐車場の料金精算機付近などに待機、もしくは対象路線・区間を巡回し、駐車車両の運転者を確認するたび、声掛けして所定の質問項目を聞き取り、調査票に記入する。

調査イメージ

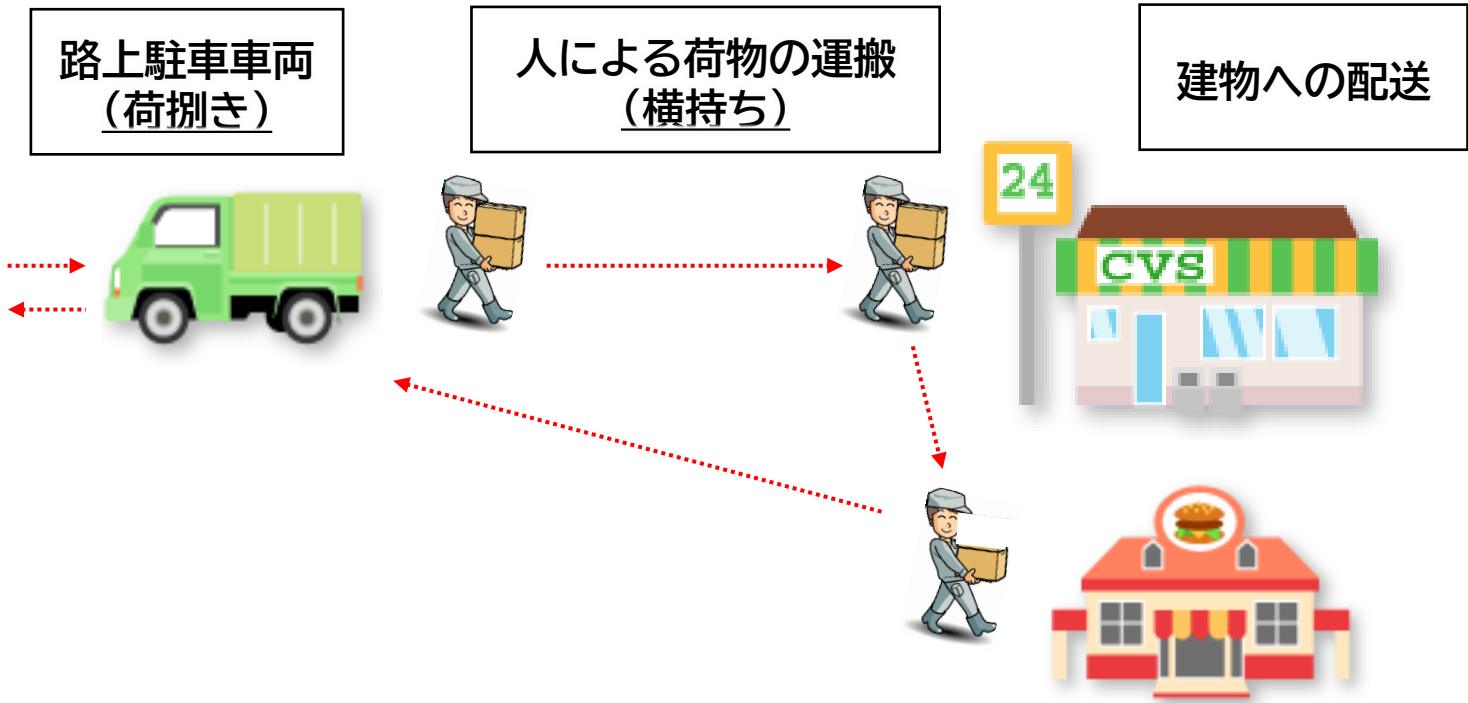


2.2 路上荷捌き実態の調査

調査対象区域内において路上荷さばきにより建物・店舗等への配送を行っている車両の配送員を対象として運搬方法や配達先等を調査する。

調査内容	
調査目的	荷さばき駐車施設の必要規模、集約化の可能性等を検討するため、路上駐車車両の駐車場所から建物・店舗等への荷さばき実態を把握する。
調査対象	対象地区内の路上荷さばき車両(路上荷さばき駐車が多い路線・区間)
調査期間	平日・休日各1日7時～19時
調査項目	・荷さばき車両駐車位置・車種・貨物事業者名・車両番号・配送先 ・駐車開始時間、横持ち開始時間、横持ち終了時間、駐車終了時間・横持方法
調査方法	調査員が調査対象路線・区間に待機し、荷さばきを行う路上駐車車両を確認するたび、駐車位置などを記録、配送員を追跡して配達先の建物・店舗等を調査し、所定の項目を調査票に記入する。

調査イメージ

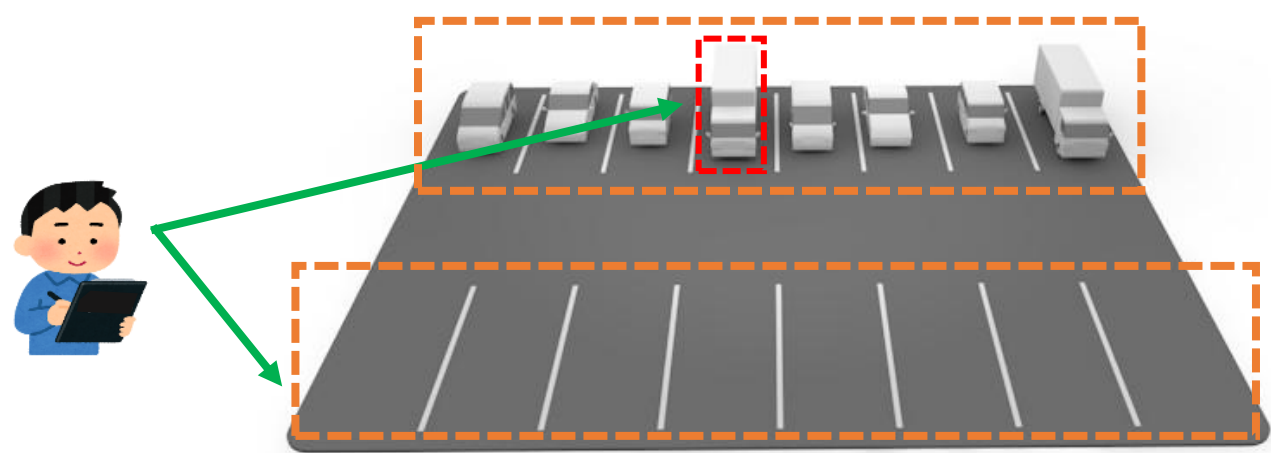


2.3 荷捌き区画の利用実態調査

調査員が調査対象の荷さばき用駐車区画近傍に待機し、荷さばきのために駐車する車両の入出庫時間、車種等を調査する。

調査内容	
調査目的	貨物車用駐車施設の必要整備量検討等のため、既存駐車場における荷さばき用駐車区画の利用台数、占有率等を調査する。
調査対象	対象地区内の既存駐車場の荷さばき駐車区画またはスペース (荷捌き駐車区画等を有する一部の建物)
調査期間	平日・休日各1日7時～19時
調査項目	・車種・貨物事業者名・車両番号・目的地・駐車開始時間、駐車終了時間 ・駐車場所
調査方法	調査員が対象の荷さばき用駐車区画付近に待機し、荷さばきのために駐車する車両を確認する たび、所定の調査票に各調査項目を記入する。

調査イメージ



2.4 障害者用駐車区画の利用実態調査

調査対象範囲内の建物に附帯する駐車場等の障害者用駐車区画またはスペース(代表駐車場)を対象として、調査員の巡回・目視により、利用状況を調査する。

調査内容	
調査目的	障害者用駐車区画の必要規模の検討等のため、既存駐車場における障害者用駐車区画の利用台数、占有率等を調査する。
調査対象	対象地区内の既存駐車場の障害者用駐車区画 (障害者用駐車施設を有する一部の建物・駐車場)
調査期間	平日・休日各1日9時～21時
調査項目	・駐車区画の時間帯別利用状況(1時間毎を想定) ・駐車場所
調査方法	調査員が対象範囲を巡回し、障害者用駐車区画へ駐車している車両台数を目視によりカウントし、所定の調査票に記入する。

調査イメージ

